

障害者サービスに使える国立国会図書館のサービス

1 学術文献録音図書を紹介

昭和 50 年 学術文献録音テープ等の製作開始

オープンリール→カセットテープ→CD (DAISY 仕様)

基本原則

- ①図書館活動の一環
- ②図書館への支援
- ③全国へのサービス

2 点字図書・録音図書全国総合目録を紹介

昭和 57 年 点字図書・録音図書全国総合目録の刊行開始

冊子→データベース→CD-ROM→OPAC (Web 公開)

3 レファレンス

当初は点字図書・録音図書の所蔵調査を対象と想定

今はサービスに関する問合せがほとんど

4 障害者サービス担当職員向け講座

平成 18 年度に日本図書館協会障害者サービス委員会が「障害者サービス担当職員養成講座」の名称で東京の日本図書館協会で開催

関西では、平成 19 年度には大阪府立中央図書館を会場に「障害者サービス担当職員養成講座 関西 (基礎コース)」の名称で開催

平成 20 年度から国立国会図書館と日本図書館協会との共催で「障害者サービス担当職員向け講座」という名称で開催

5 視覚障害者等用デジタルデータの収集及び送信

公共図書館等が製作した音声 DAISY データ及び点字データを、国立国会図書館が収集し、登録した図書館や視覚障害者等個人の方にインターネットを通じて提供するサービス。平成 26 年 1 月 27 日から開始

5. 1 視覚障害者等用データ送信サービス

<送信サービスで利用できるデータ>

以下の(1)と(2)のデータを利用することができる。平成 26 年 9 月 30 日現在、2,035 点のデータを提供

- (1) 国立国会図書館が製作した学術文献録音図書 DAISY データ
- (2) 公共図書館が製作した音声 DAISY データ及び点字データ

<本サービスを利用するためには>

○図書館からの利用

- ・お近くの障害者サービスを行っている公共図書館等に、当館の送信サービスを受けられる「送信承認館」になっていただくことが必要。
- ・平成 26 年 9 月 30 日現在、送信サービスの送信承認館は全国に 35 館。

○個人の方の利用

- ・国立国会図書館の専用 ID を取得していただければ、個人の PC から利用可能。ただし、当面は国立国会図書館（東京本館または関西館）に来館してご登録いただく必要がある。

<「サピエ図書館」との連携について>

平成 26 年 6 月 3 日から、視覚障害者等用データの送信サービスについて、「サピエ図書館」を通じて利用可能。

5. 2 視覚障害者等用データの収集

公共図書館が製作した視覚障害者等用データ（音声 DAISY データ及び点字データ）を収集。平成 26 年 9 月 30 日現在、20 館の公共図書館から 1,113 点のデータを収集。

5. 3 本サービスの今後

○視覚障害者等用データの収集において、公共図書館からデータを国立国会図書館のシステムに直接登録していただく方法を追加。

平成 27 年度開始予定

- データ収集対象館種の増加
- 収集するデータ種別拡大の検討
- 遠隔地からの本サービス利用者登録方法の拡大

<参考> 視覚障害者等用データの送信点数（平成 26 年 9 月 30 日現在）

	音声 DAISY	点字データ	合計
国立国会図書館が製作	909	13	1,113
公共図書館から収集	1088	25	922
合計	1997	38	2,035